

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第 1 回情報のかけ橋委員会
2. 開 催 日 時	令和 6 年 5 月 23 日（木） 午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分
3. 開 催 場 所	松阪市役所 5 階特別会議室
4. 出席者氏名	(委員) ※敬称略 副市長 永作友寛、山守一徳、川口正人、酒井由美、中北直子、 殿村道信 (事務局) 中西章、森本康代、岸本大輝、廣田義乃
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0 人
7. 担 当	松阪市 秘書広報局 広報広聴課 TEL 0598-53-4312 FAX 0598-22-1119 e-mail kouhou.div@city.matsusaka.mie.jp

議題

1. 委員長あいさつ
2. 令和 5 年度の主な広報広聴課の広報活動報告 SNS 等の運用状況について
3. SNS 等の運用状況について
4. 広報広聴課からの報告
5. 行政チャンネル報告事項について

議事録

別紙

第1回情報のかけ橋委員会 議事録（5月23日開催）

1. あいさつ（永作副市長）

委員長 皆さんこんにちは。市役所の仕事は、5月末が出納閉鎖ということで、令和5年度の決算関係が全て終わります。競輪事業なんですけど、過去の売り上げ額が最高になりまして、約296億円ぐらいになりまして、いろいろ差し引きまして、市に残ったので約14億円ぐらいとなりました。ただ、数年前までは赤字続きでした。今は、民間委託の成果もあるのですが、インターネット環境の普及が大きいように思いますし、夜間開催のときでも遠方からのお客さまが楽しんでいただけるし投票もしていただけるようになりました。今年度の会計からは、5億円ほど競輪事業から一般会計に入れることとなりました。

あと、船形埴輪が国宝になりました。今まで東京の国立博物館のほうにありましたが、5月31日から、はにわ館のほうで一般開放されることとなります。ぜひ、みなさんに見ていただきたいと思います。

本日、広報紙の変更点やデザイン面のことなどで事務局よりご相談させていただくかと思います。

それでは本日もどうぞよろしくお願いいたします。

2. 令和5年度の主な広報広聴課の広報活動紹介

事務局 （資料1）について説明。

3. SNS 運用状況についての報告

事務局 それぞれ SNS フォロワー数とチャンネル登録者数を令和6年4月1日現在と令和5年4月1日現在の数値を比較し、現状の数値を説明。

4. 広報広聴課からの報告

事務局 昨年度の第2回情報のかけ橋委員会でいただいた提案事項の中で、改善した内容を2点報告。

- ・カタログポケットに松阪ナビから遷移できるよう改善。
- ・松阪ナビの良いところを広報紙で周知していく。

5. 広報まつさかデザインについて

事務局 毎年随意契約としていますが、広報紙のデザインについて本委員会

でご助言をいただき、契約をしています。今年度も委員の皆さまのご意見をお伺いし引き続き契約をしていくべきか検討をさせていただきますたいです。また、広報紙全体に関する広報紙アンケートを実施したいと考えているため、アンケート項目についてもご教示いただきたいと思います。

委員 アンケートの中で、WEB版を知っていますか？という内容があるが、一緒にURLなどを掲載してみてはどうでしょうか？

事務局 回答は、WEBフォームとする予定です。
フォームの仕様などを確認して、カタログポケットのハイパーリンクを設定したり、アイコン画像を一緒に掲載したり、周知要素も含めれるように一度検討します。

委員 WEBでの回答というのは、具体的にはどのような手順を考えているのでしょうか？

事務局 広報紙にQRコードを載せ、スマートフォンで読み込み、回答する流れを想定しています。

委員 アンケートで回答数を求めるのであれば、抽選で何名様に当たるとかしていくほうが回答数が伸びるかと思えますいかがでしょうか。あと、記名か無記名かによる回答でも変わってくるかと思えます。

事務局 粗品プレゼントなど何かできるか一度検討をしてみます。回答は、無記名による回答を考えております。

委員 民間のシニア向け雑誌に掲載したり、広報紙の最後のページに大きく1ページ掲載したりなど大きなアクションをとってアンケート記事を掲載する方法もあるかと思えます。

事務局 ありがとうございます。今回のアンケートは、広報紙の読者に回答をしていただければなという思いがありますので、紙面の中での掲載場所や記事のボリュームを一度検討させていただきます。

事務局 アンケートの内容についてお聞きしたいのですが、性別を聞くときに男性、女性、その他とするべきでしょうか。

委員 多様性の時代ですので、2択よりも3択にしたほうがいいと思います。

無回答という選択肢にするのはどうでしょうか。

あと、9番目の設問で「紙を廃止して、電子媒体のみにすることはどう思いますか。」とありますが、「紙を廃止して～」という文言をとって、「電子媒体のみにすることはどうですか。」という聞き方のほうがいいと思います。

事務局 ありがとうございます。修正させていただきます。

委員 広報紙のデザインを変更するとなると、読者の戸惑いも生まれる可能性があるし、改めてプロポーザル契約をするとおそらく1.5倍ぐらいの金額になる可能性もあると思います。

前回リニューアルした際に、県の広報コンクールに入賞された経緯もあり、デザイン性に問題ないということで、現状の業者と引き続き契約をされていると思います。今後、改めて、コンクールに入選されるなど、何かあると現状の業者との契約を続けやすいかもしれませんね。

事務局 広報コンクールでは、広報紙部門、1枚写真部門、組み写真部門の3つの部門があります。それぞれコンクールに提出できますので、入賞できるように日々努力していきたいと思います。

委員 広報紙を読まれている年齢層は、比較的に高めの年齢層だと思います。基本ベースは今のページネーションでプロポーザルして、周りの細かいレイアウトを提案してくださいとするのもありかもしれません。でも、プロポーザルをした場合、金額面は、かなり上がる可能性はあると思います。

事務局 前回のプロポーザル時では、現在の広報紙のページネーションをある程度指定した仕様書であり、審査内容のなかで、この月号の特集記事をアレンジしてくださいというような内容で審査したと聞いています。

委員 大きくデザインを変えるというのは、やはり読者にとって読みづらくなるかもしれませんので、前回リニューアル後10年目となる、来年度は、随意契約でも問題ないんじゃないでしょうか。

あと、契約の内容とは異なりますが、広報5月号の構成で考えると、まちのできごとと、国宝指定とセットにして、5月は消費者月間と高齢者のくらしを考えるをセットにするほうが、流れができて読みやすいように感じました。

事務局 ありがとうございます。構成を考えるうえで、見開きでの見やすさ読みやすさを考慮し、広報紙を作っていきたいと思います。

一旦10年目までは現行の業者としても問題ないのではというご意見も頂戴しましたので、来年度の1年間は、現行業者としても問題ないと受け止めさせていただいてよろしいでしょうか。

委員 (異議なし)

委員 広報コンクールでの評価点の多くは、特集記事だと思います。そこをいかに取材するかと意識してほしいです。

事務局 ありがとうございます。特集記事について一度アドバイスをいただきたいのですが、よろしいでしょうか。

(広報2月号の特集を説明。委員のみなさまよりアドバイスをいただく。)

6. その他

事務局 次回の委員会についてですが、広報8月号で掲載する広報アンケートの集計後、第2回委員会の開催をさせていただきたいと思います。一定は、後日調整させていただきます。

以上